

# NEW OKUNO HOSOMICHI・YAMAGATA 新・奥の細道

鼠ヶ関ルート  
⑦

義経上陸のみち  
Yositune-joriku-no-michi



山形県

周辺の  
アクセス  
ガイド

鼠ヶ関駅までは  
JR羽越本線で坂町から60分  
あつみ温泉から車で20分



観光・宿泊の  
お問合せ

温海町観光協会 0235-43-3547  
〒999-72 山形県西田川郡温海町大字温海甲306

温海町観光商工課 0235-43-4617  
〒999-72 山形県西田川郡温海町大字温海577-1

交通の  
お問合せ

JR鼠ヶ関駅 0235-44-2131  
〒999-71 山形県西田川郡温海町大字鼠ヶ関1562

コースの  
お問合せ

温海町観光商工課 0235-43-4617  
〒999-72 山形県西田川郡温海町大字温海577-1

山形県環境保護課 0236-30-2206  
〒990-70 山形市松波2-8-1

表紙の写真は源義経ゆかりの浜 碑

# NEW OKUNO HOSOMICHI・YAMAGATA GUIDE

## 念珠の松庭園

Nenjyuno-matu-teien

高さ4m、枝の長さは、東西27mにもおよぶクロマツは、念珠の松と呼ばれています。樹齢はおよそ450年で、県指定天然記念物。枝はすべてねじれおり、成長の課程で庭師の手が相当に入っているものと見受けられ見る人に深い感銘をあたえます。

●お問い合わせ/ 0235-43-4617(観光商工課)



## 鼠ヶ関マリーナ

Nezugaseki-marina

幾層ものヨットやモーターボートが停泊する鼠ヶ関マリーナは、日本海側屈指の規模を誇るマリーナ。シーズンには、各種大会が数多く開かれ、紺碧の海に鮮やかな帆の波が連なります。

●お問い合わせ/ 0235-44-3199



## 「義経ゆかりの浜」碑

Yositune-yukari-no-hama-hi

弁天島の嚴島神社境内には、昭和40年NHKテレビドラマ「源義経」を放映した時義経に対する関心が高まり、これを記念し昭和41年原作者村上元三揮毫による碑があります。

弁天島(嚴島神社)

「源義経主従が頼朝の追討を逃れて平泉に赴く途中、最後の関門となったのが、越後と出羽の国境、鼠ヶ関(念珠関)だったという。関守たちをごまかすべく、弁慶が、義経を下僕に仕立て、杖で打ち伏せてみせた。関守たちは、義経一行と見抜いていたが、かねてから、同情を寄せていてので、通してやり近くの宿の世話をしねぎらってやった。」このような話が地元に残っており、また、その泊まった宿に義経がお礼として矢立て、扇などを残していくなど、義経にちなんだ話や、名所がいくつかあり、それを廻ると鼠ヶ関を1周することができます。

## 関所跡

Sekisyo-ato



白河関、勿来関と並び、奥羽三大古関の1つに数えられる鼠ヶ関。最初の関所は今からおよそ1300年前に設けられ、時とともにそのたたずまい、「念珠関」「念種関」と呼び名を変え明治時代まで続きました。源義経、弁慶の「勧進帳」の舞台ともいわれ、江戸時代には鼠ヶ関御番所といわれ「鼠」の定印を用いていました。現在では、大正時代に立て替えた際の柱と石垣の一部が残っており、昔の面影を今に伝えています。また、その関所の払い下げを受けた地主氏宅には、今も当時の人々の姿や、風景が描かれた絵図が残っています。



関所絵図

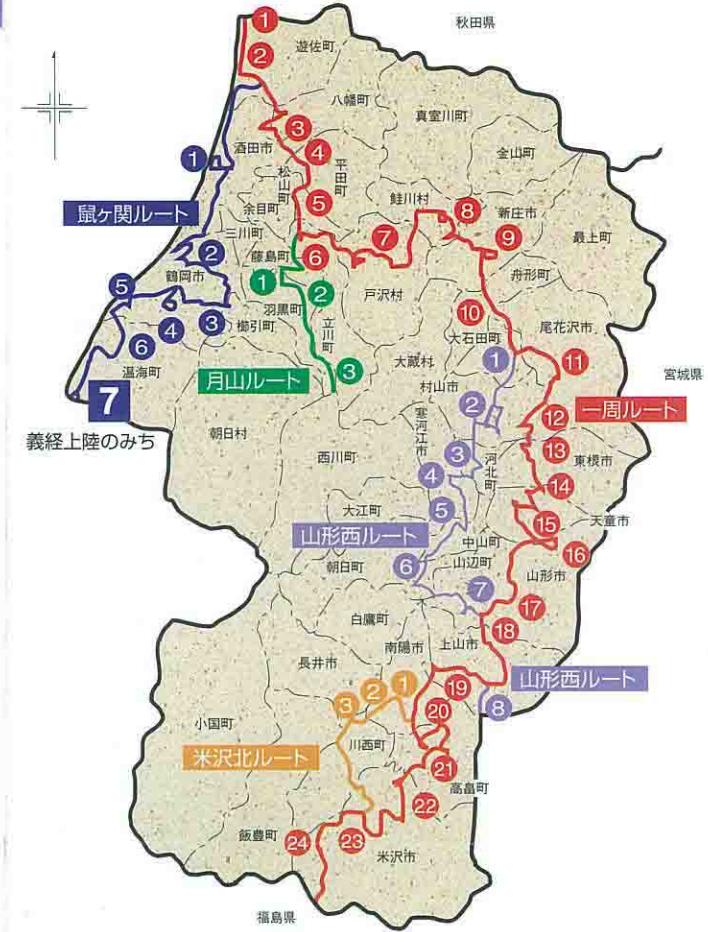
## 曹源寺のヒサカキ

Sogenji-no-hisakaki

曹源寺の裏庭にあるツバキ科の巨木で、南北に相対して2株植えられています。昭和30年に県の天然記念物に指定されました。今から400年程前、諸国巡礼に向かおうとした佐渡の峯庵禪師が強風で遭難し、この地でいたわりを受けたため、そのお礼に手植えたものといわれています。



# YAMAGATA MAP 東北自然歩道(新・奥の細道)ルート図



## “新・奥の細道”とは

自分の足でゆっくり歩きながら、森や川、野鳥や虫など豊かな自然にふれあい、また、その地域の特色ある文化や歴史と親しむためのみちです。“新・奥の細道”は正式には東北自然歩道といいます。この自然歩道は、一日で歩ける程度の遊歩道を1つのコースとして、コースの間をバスなどでつなぎながら東北を一周する長距離自然歩道です。そして、この道は福島県白河を起点とし、宮城、岩手、青森、秋田、山形の順で経由して福島県郡山に至るルートになっています。

また、この“新・奥の細道”は東北を一周するルートの他に、景観の優れた地域や名勝地等に向かうルートがあります。県内でも、月山ルート・鼠ヶ関ルートなど4つのルートがあり、山形県内のルートをあわせた総延長は45コースで469Kmとなっています。

この“新・奥の細道”を楽しむために

- 1.コースのみどころ、地形、距離をあらかじめ調べて、余裕のある日程を組みましょう。
  - 2.歩きやすい服装で、荷物は最小限にとどめましょう。
  - 3.天気予報に注意して、天気のいい日を選んでゆっくり歩きましょう。
- この3つを守り、友人と、家族と、さあ出発！

## おねがい

- ・ゴミは捨てないで持ち帰りましょう。
  - ・たばこの投げ捨てや、山火事には十分注意しましょう。
  - ・案内板や休憩所はみんなのものです。大切にしましょう。
  - ・美しい自然は、人間だけのものではありません。草花や虫たち、小鳥たちのために自然を汚さないようにしましょう。
- そして、美しい自然を後世まで伝えていきましょう。

このみちは、年金積立金還元融資を受けてつくられました。